

第61回 岡山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技の部 兼
令和4年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 岡山県予選会

日時	2022年6月5日	14:00	男子	決勝
会場名	津山総合体育館			Mコート 第(4)試合

○ 岡山工業	73	<table border="0"> <tr><td>{</td><td>21</td><td>-</td><td>17</td><td>}</td></tr> <tr><td>{</td><td>13</td><td>-</td><td>13</td><td>}</td></tr> <tr><td>{</td><td>18</td><td>-</td><td>21</td><td>}</td></tr> <tr><td>{</td><td>21</td><td>-</td><td>19</td><td>}</td></tr> </table>	{	21	-	17	}	{	13	-	13	}	{	18	-	21	}	{	21	-	19	}	70	商大附属	●
{	21	-	17	}																					
{	13	-	13	}																					
{	18	-	21	}																					
{	21	-	19	}																					

審判名	クルーチーフ	前花直哉					1stアンパイア	大嶋将之	2ndアンパイア		中村 達哉		
選手名	背番号	得点	3P ^o イント	2P ^o イント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3P ^o イント	2P ^o イント	フリースロー	ファウル
中矢 匠紀 (C) *	4	22	1	6	7	1	十念 璃久 (C) *	4	24	1	8	5	2
東 龍一	5	-					首藤 隆牙	5	25	3	8		3
徳田 舜 *	6	8		4		3	大内 海渡 *	6	0				1
守谷 祥吾 *	7	8		2	4	2	高下 禄悠	7	-				
坂本 潤太	8	-					藤井 天翔	8	1			1	
金井 宥之祐	9	-					染矢 楓	9	-				
小原 拓人 *	10	14		6	2	1	佐々木 翔 *	10	4		2		3
浅野 健志 *	11	5	1	1		4	山岸 歩夢 *	11	6	2			4
池野 恵太郎	12	16	4	2			田村 優二	12	4		2		1
大井 教提	13	-					宮谷 浩司	13	0				1
才田 惺也	14	-					佐藤 颯 *	14	6	2			3
正富 颯空	15	-					梅田 圭吾	15	-				
筒井 優大	16	-					岡安 玲夢	16	-				
藤村 洋希	17	-					森川 光誠	17	-				
青木 琉海	18	-					片岡 裕基	18	-				
合計		73	6	21	13	11	合計		70	8	20	6	18

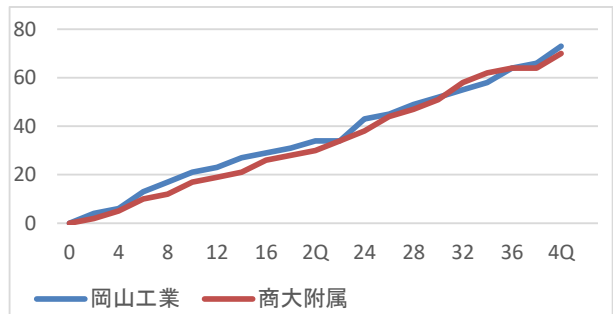
戦評

1Q 試合序盤から両者ともタイトなマンツーマンで相手にプレッシャーをかける。商大が④のドライブで得たFTから最初の得点を挙げると、岡工も負けじとディフェンスで相手のミスを読み速攻に繋げる。商大はスクリーンを多用したオフェンスを組み立てるが岡工のDFに阻まれる。その間に岡工は⑦が自らの3Pをリバウンドに飛び込んだゴール下シュートや、⑥のドライブで得点し、開始3分で岡工6-2商大とリード。しかし商大は14の3Pをきっかけに勢いに乗り、開始5分には岡工6-10商大と商大が逆転する。岡工は④と⑩のハンドオフプレーで商大のファウルをもらい勢いづく、⑩のオフェンスリバウンドや⑪、⑥のドライブで得点につなげて再逆転に成功し、開始7分には岡工17-12商大と突き放す。商大も得点を伸ばしたいが、岡工④のタイトなDFにオフェンスファウルを誘われるなどしてやや苦しい展開に。終盤は両者ともドライブや合わせのプレーで得点をするが、最後には岡工⑥がブザービーターを沈め、岡工21-17商大と岡工が1歩リードして1Qを終えた。

2Q 両チームともマンツーマンでゲーム再開。岡工④が鋭い切り返しからジャンプシュートを沈めるが、商大も⑩のリバウンドシュートで追いつく。両チーム激しいディフェンスからルーズボール争いを繰り広げ、ゴールを守り抜く時間帯が続き、緊迫感のある展開を見せる。両チーム約3分間ノーゴールが続いたが、岡工④が速攻から⑩にノールックパスを合わせ、得点を動かす。するとすかさず商大も⑤がドライブシュートで得点を返し、主導権を渡さず、4分が過ぎたところで岡工27-商大24。その後も岡工④の鋭いドリブルワークからのステップイン、商大⑤のドライブからの巧みなシュートなどで得点を重ねる。8分が過ぎたところで商大はタイムアウトを取って逆転を試みるが、岡工はうまく相手のファウルを誘いフリースローから着実に得点を積み上げ、岡工34-商大30、岡工4点リードで前半を折り返した。

3Q 4点差で迎えた3Qだが、商大④がリバウンドからの速攻を連続得点につなげ、開始1分で同点とするが、岡工④もゴール下のバスケットカウントと3Pで連続得点して突き放し、両チームともキャプテン同士がチームを牽引する立ち上がりとなる。追い上げる商大は⑤が合わせのプレーや3Pで連続得点すると、④の3Pで岡工43-44商大と逆転。その後は商大④や岡工⑩が得点を重ねるなどして一進一退の攻防。残り1分を切り、岡工⑩が3Pを決めて岡工52-49商大とする。岡工ボールとなり、残り時間を使い切るかと思われたが、商大⑤がボールマンの隙を見逃さずにスティールを速攻につなげ、岡工52-51商大と1点差に詰め寄って3Qを終えた。

4Q 開始早々、商大④のターンシュートに対し、岡工は⑫のディープ3Pなど、リードを奪い合う展開となる。3分を過ぎたところで岡工58-60商大となったところで商大がタイムアウトをとる。その直後、商大は⑤のドライブから⑫への合わせで得点差を広げようとするが、岡工も④の鋭いドライブからバスケットカウントを決め、1点差に詰め寄る。その後、岡工は2-3ゾーンなどでディフェンスに変化をつけ、奪ったボールから岡工④がフリースローをもぎ取り、同点にする。勢いに乗る岡工は④から⑩への合わせで得点し、6分を過ぎたところで、岡工66-64商大と逆転に成功する。商大はたまたまタイムアウトを取り、再逆転を試みる。すると、直後に商大⑤が3Pを沈め、すぐに商大がリードを奪い返す。さらに岡工⑩、商大④がそれぞれ3Pを決め、互いに勝利に向けて意地を見せる。残り1分を切り岡工69-70商大となったところで、岡工④の絶妙なパスから⑪が得点し、残り15秒で岡工が1点リードする。商大は直後にタイムアウトをとり、最後の攻撃に出るが、岡工⑫が値千金のスティールに成功し、そのまま得点して差を広げ、岡工73-70商大で終了し、岡工が3大会ぶり6回目の優勝を決めた。





第61回 岡山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技の部 兼
令和4年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 岡山県予選会

日時	2022年6月5日	11:00	男子	3位決定戦
会場名	津山総合体育館			Mコート 第(2)試合

○ 理大附属 71 { 25 - 19
16 - 17
15 - 9
15 - 9 } 54 作陽 ●

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
荒木 碧羽	0	-					辰己 瑛祐(C) *	4	25	7	2		3
ソーマ アルナブ *	3	12		5	2	3	相原 誠二	5	-				
宮谷 健史	5	0					長瀬 凱聖 *	6	6		3		1
林 陸 *	7	25		11	3	2	木村 元彦 *	7	15	3	3		3
山邊 京征(C) *	8	8		3	2	5	渡邊 尚貴	8	1			1	2
原 元城 *	11	4		2			森岡 玲太郎	9	-				
平澤 仁都	12	-					小松 蓮	10	-				
井上 虎大	21	-					山中 菖真	11	-				
中島 稜幾	24	-					中島 陸	12	-				
喜友名 孝太 *	26	18	2	6		5	土谷 利親 *	13	7		2	3	2
山崎 琉成	28	-					田城 蒼太	14	-				
甲本 将人	29	4		2		3	小林 心 *	15	0				4
宮本 力光	30	-					末藤 琥太郎	16	-				
名越 春音	75	-					太田 優輝	17	-				
柴田 誠也	91	0				1	中川 蓮	18	0				
合計		71	2	29	7	19	合計		54	10	10	4	15

【得点経過】

